

平成20年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数
13	薬理学	No. 1 2枚

受験番号	氏名

問1 図1は、ペントバルビタール麻酔下の家兎に、エピネフリン塩酸塩（Epi、またはアドレナリン塩酸塩）3.0 $\mu\text{g/Kg}$ 、および 10 $\mu\text{g/Kg}$ を静注し、血圧と心拍数を観察したものである。図2は、ヒトにエピネフリンを緩徐に静注し、血圧と心拍数を観察したものを New 薬理学（南江堂 p 262）から許可を得て引用したものである。次の問に答えなさい。（15 点）

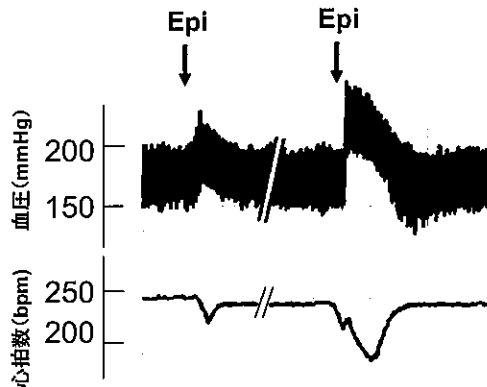


図1 エピネフリン塩酸塩による家兎の循環動態

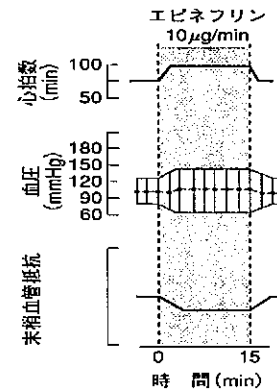


図2 エピネフリンによるヒトの循環動態

(1) エピネフリン塩酸塩（または、アドレナリン塩酸塩）の静注によって生じる家兎の血圧上昇、および心拍数の減少は、どのような薬理作用に基づくのか説明しなさい。

(2) エピネフリン塩酸塩（または、アドレナリン塩酸塩）の静注により、ヒトの場合は心拍数が増加し、家兎の場合は減少した。この違いを説明しなさい。

採点	
----	--

[]

平成20年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
13	薬理学	No. 2 2枚		

問2 γ -アミノ酪酸 (GABA) について、以下の問に答えよ。(15点)

(1) GABA_A受容体の特徴について述べよ。

(2) バルプロ酸ナトリウムとジアゼパムはいずれもてんかんの治療に用いられる。この2つの治療薬の作用機序について、その共通点及び相違点を薬理学的に説明せよ。

採点	
----	--

[]